

2022年 10月

～第94号～

夏休み企画『夏休み自由研究講座』・『イタイイタイ病を学ぶ日帰りバスツアー』を開催しました

7月30日（土）に「夏休み自由研究講座～イタイイタイ病の学習と川の水質調査～」を開催しました。今年は6組14名の小学校5・6年生とその保護者が参加されました。

前半のイタイイタイ病についての学習では、ガイダンス映像を視聴した後、資料館スタッフの解説を聴きながら展示室を回りました。展示室では、神通川流域の農村に病気が発生した時期や要因を教わり、病気に苦しむ患者と家族の様子を再現したジオラマを見学しました。さらに、地元の萩野昇医師たちによる病気の原因究明の努力、被害住民たちが団結して裁判勝訴に至るまでの過程、その後の汚染農地の復元事業や、今も続く発生源対策の取り組みについて学習し、イタイイタイ病の歴史や環境と健康の大切さに理解を深めました。



～展示室解説～

後半の「川の水質を調べる実験」では、薬学博士の朴木英治氏にご指導いただき、富山市内を流れる「いたち川」の中流から下流まで9ヶ所で採取した川水の汚れをパックテストで測り、地点ごとの数値を比較してみました。

初めて扱う簡易計測器に手こずりながらも、参加者は真剣に実験に取り組んでいました。

閉講式では野田館長から参加者児童全員に修了証が授与され、自由研究にも役立つ有意義な夏休みになりました。



～開講式～



～川の水質を調べる実験～

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

翌週8月5日（金）には「イタイイタイ病を学ぶ日帰りバスツアー」を開催しました。

コロナ禍で2年間中止が続き、3年ぶりに開催したこの企画には、小学校5・6年生とその保護者8組17名が参加して、イタイイタイ病に関係のある場所を巡りながら公害病を克服してきた歴史を学習しました。

資料館に集合した参加者は、展示室での解説を受けたあと、バスに乗り岐阜県飛騨市にある神岡鉱業株式会社に向けて出発しました。

鹿間工場内では、排水管理センターやシックナー（凝集沈殿装置）、和佐保地区では鉱石のくずである廃さいを溜めておく堆積場を見学し、「環境安全最優先」方針のもとに、工場からの排水管理が徹底されていることを学びました。



～和佐保堆積場見学～

午後は富山に戻り、カドミウム汚染から復元された富山市婦中町新屋地区にある農地（水田）を見学し、安全で良質な米作りのための努力と

